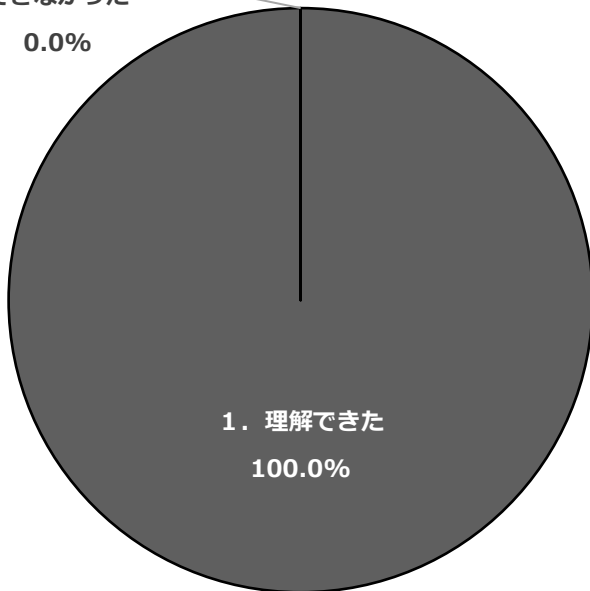


スケアード・ストレイトによる高校生交通安全教室 実施アンケート結果

Q1. 交通ルールやマナーの重要性について理解できましたか。

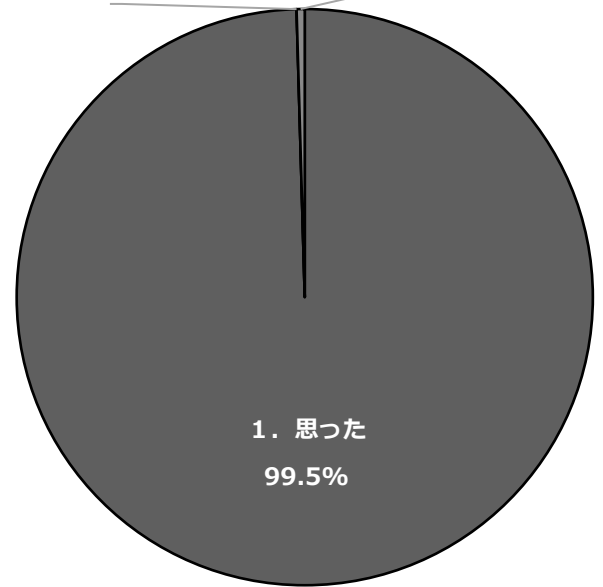
2. あまり理解
できなかった
0.0%



Q2. 交通安全教室に参加して、自転車の走行をもっと注意しなければならないと思いましたか。

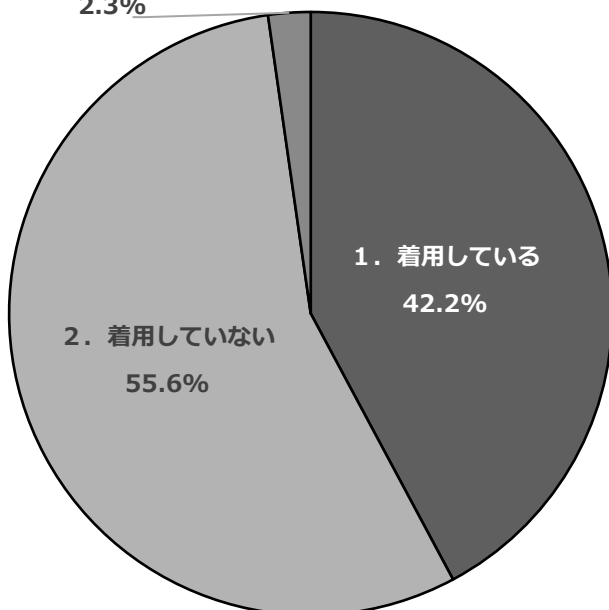
2. 思わなかった
0.0%

3. 無回答
0.5%



Q3. 自転車を利用する際、ヘルメットを着用していますか。

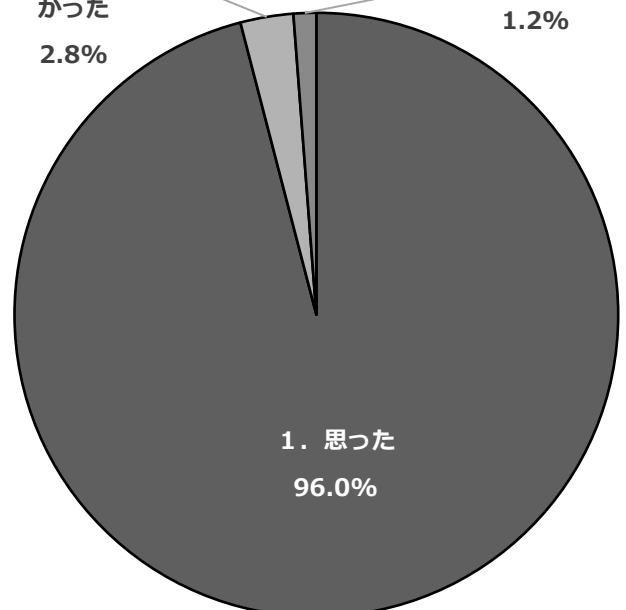
3. 無回答
2.3%



Q4. (Q3で「2. 着用していない」と答えた方にお尋ねします。)交通安全教室に参加して、ヘルメットを着用しようと思いましたか。

2. 思わ
なかった
2.8%

3. 無回答
1.2%



Q5. 交通安全教室に参加して思ったことや、感じたことを書いてください。

1年生

- ・自転車被害者だけでなく、加害者になることもよく分かった。
- ・今までは、イラストやイメージでしか見ることができなかったことが、スタントマンを通して実際の事故を目に焼き付けることで、事故が恐ろしくて危険なものだと再確認した。
- ・自転車についてのルールや法律を詳しくは知らないなので、この機会に調べて安全に日々自転車を使えるようにしたいと思った。
- ・自分の周りの人にも事故に関わってほしくないと思うので、今日学んだことを少しでも伝えたいと思う。
- ・少しでも意識しないとうなってしまうかもしれないと、身近に危険が隠れているんだと思った。
- ・実演された事故を見て、自分の行動一つで事故が起こってしまうから、自転車走行中の自分の行動を改め、安全に気を付けていきたい。
- ・自分が自転車を運転していなくても、車からでるときに自転車や人が近くにいるか確認することで事故を防げることが分かった。
- ・ヘルメットは髪型が崩れるしダサイという理由で着けていなかったけれど、ヘルメットの大切さに気付けたから良かった。

2年生

- ・「今日笑顔で分かれた友達と顔を合わせられなくなるかもしれない。」と聞いてとても心配になったし、気を付けようと思った。
- ・今まで気にせず行っていたことが、交通規則的には違反になってしまうことを知ることができた。
- ・普段自転車を使用する中で、飛び出しや死角は気を付けているつもりだったけれど、「こんなシチュエーションもあるのか」とよりたくさんの危険を知ることができた。
- ・今までは実際の交通事故がどのようなものなのか想像できなかったけれど、実演を見てその怖さを知ることができた。
- ・横断歩道を渡る際や、信号がない道、周囲が見えづらい場所などでは、歩行者であっても気を付けなければいけないと思った。
- ・身近に危険があることをよく理解することができたとし、少しこのことを気を付けるだけで命を守ることができると分かった。
- ・歩くより格段に速く便利だけど、それ以上に安全に留意して乗る車両が「自転車」なのだと改めて感じることもできた。
- ・知らなかった取るべき行動があったので、今日学んだことを生かしていきたい。

3年生

- ・これからは車を運転していく立場でもあるので1つ1つの行動を確認し、当たり前をちゃんと守りたい。
- ・自分の命を守るのは、最終的には自分だけなので、ヘルメットを着けて走行することを家族や友人にも話して全体で事故を未然に防いでいきたい。
- ・歩行者優先であっても、車や自転車が止まらない可能性があることを忘れず、確認を怠らないようにしたい。
- ・今までは、どうせ大丈夫という気持ちを持っていたため交通ルールを破っていた。今回を機に事故には気を付けて自転車を利用したいと思った。
- ・自転車の運転は気を付けているつもりだったが、まだ意識が足りていないことを自覚した。
- ・今回の講話を理解だけで終わらせず、実践して交通事故のリスクを少しでも減らしたい。
- ・時速 40～50 kmで走る車が思っていたより速く、自転車を数メートルほど突き飛ばす力があり危険であることを認識した。